

# 「完全時間給制」で残業問題解消

平成22年4月に改正労働基準法が施行され、月60時間を超える時間外労働について割増賃金率が50%以上に引き上げられたが(中小企業は猶予中)、運送事業者の中では労務改革に着手するところもある。(株)中田商事(中田純一社長、三重県伊賀市)でも平成22年10月からドライバーの運賃体系を100%の歩合給から「完全時間給制」に切り替え、時間軸による賃金の「見える化」を図っている。時間給により未払い残業問題が解消されることになったが、また、時間給による運賃設定、2台のトラックを3人体制で稼働させるなどし、労働時間の短縮、有給休暇の取得を実現させている。

## デジタコベースで時間管理

中田商事  
時給ベースの運賃設定、  
2台3人制で有休5日も実現



「従業員の定着率が向上した」と話す中田社長

運送業の将来性に従業員が不安  
同社は17期目。売り上げは6億4000万円。保有車両は2トン車から大型車まで60台保有。平ボディ車が20台あり、他に、ダンブ、ユニック車、ウィング車をそろえる。従業員は80人。  
中田社長は、「トラック運送業の将来性に対しては、平成22年4月からは、平成22年4月から具体的な仕組みの検討を進め、同年9月

からドライバーと個別に面談して時間制賃金を説明し、雇用契約書を締結していった。時間制賃金はデジタコのデータをベースにした時間管理による時間給である。出庫から帰庫までのデジタコ記録を事務員が毎日、エクスセルに落とし込んで表にし、拘束時間、休憩時間が分かるようにして、時間給計算を行っている。  
拘束時間中の運転・待機・作業・点検・荷積・荷卸の合計時間が時間給の対象となる。待機時間とは「寝ていたらいない状態」で、休憩時間とは「自分の時間として使える時間」とすることを契約書に明記し

めに設定されている。同社によると1人で

車種の時給ベースにポイント評価を加味して時間給を算定する。貢献度(勤続年数、積極性)、意識項目(安全性、車両管理意識、交通ルール意識)、スキル項目(運転スキル、作業スキル、点検・整備の各項目を運転手が自己評価し、会社側と面談。会社側の評価とのギャップをすりあわせ、時間給を決められる。労働契約通知書によって更新される。  
同社では荷主に対して自社で取り入れた時間制賃金をそのまま見積もりにあてはめて運賃交渉を行う。明確な数値で根拠を示していることから、荷主も時間軸による運賃設定を受け入れていた。  
荷主側はいかに効率よく運ばせるかを真剣に考えるようになり、荷待ち時間が大幅に減少。見積もりには、荷待ち時間、積み込み料金、荷卸し料金、雨のキャンセル料の項目も設定され、收受できているという。

1台を運転すると労働時間は、1日13時間30分×26日＝350時間  
で、2台では計700時間になる。2台を3人で回すと、1人当たりの労働時間は250時間以内になるという計算だ。  
有給取得は昨年度1人あたり年間5・1日  
時間給をベースにした運賃設定とトラックをローテーションさせることで、利益率を向上させ人員に余裕が生まれ、有給休暇取得も実現させた。有給取得は昨年度1人あたり平均で年間5・1日に達した。  
中田社長は、「完全時間給制を取り入れて利益は伸びた。つまり効率が良くなった。一番の効果は従業員の定着率が向上したこと。若年者も含めて応募者も増えている。残業時間は月平均80〜90時間で、労働時間は月平均270時間。これを250時間にまで下げていきたい」と更なる時短に意欲を見せていた。

- ・待機/休憩の基準の明確化
- ・運行外みなし労働時間の設定
- ・デジタコを労務管理ツールとして活用

待機・・・基本的には寝てられない状態(労働時間)  
休憩・・・自分の時間として使える時間(労働時間外)

運行外見なし労働時間 = 始業点検15min + 終業点検15min + 日報等事務処理15min + 点呼5min + 洗車他10min = 1h



デジタコに記録されない勤務について  
横乗り・・・タイムカードより勤務時間を計上  
倉庫作業等・・・作業報告書により勤務時間を計上

運転: 2時間15分  
待機・作業・点検: 0時間  
荷積・荷卸: 7時間15分  
合計: 9時間30分

運行外みなし労働時間  
1時間

給与支払い時間  
10時間30分

### ルールづくり

完全時間給について解説した資料